

カキノヒメヨコバイ

学名 : *Empoasca nipponica* Dworakowska



葉に寄生する幼虫



被害葉

生態と防除

加害部位：葉、枝

越冬形態：成虫、ツツジなどの常緑樹で越冬

発生回数：年5～6回

防除対策：4月になると成虫が飛来し、5月中旬には孵化幼虫が見られる。
前年発生園ではその時期に登録農薬を散布する。